

## 第25回東北大学医学祭 開催報告



医学祭実行委員長

井手田 凌

医学部後援会会報を御覧の皆様、お世話になっております。第25回東北大学医学祭において実行委員長を務めました、医学部5年次学生の井手田凌と申します。

昨年10月9日・10日に第25回東北大学医学祭を現地とオンラインのハイブリッドで開催し、盛況のうちに無事締め括ることができました。医学祭への皆様のご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。



ないかと考えております。全体テーマである「Connect～私と医療と世界と～」に掲げた通り、来場者の方々と私達学生を繋ぐ、良い機会になったのではないかと考えております。医療を身近なものとして捉えてほしい、という目標に相応しい企画をお届けできたと思います。企画実施にあたり多大なるご支援をいただいた先生方、先輩方、医学祭の準備に必要なご支援をくださった皆様、そして長期間に渡り準備や運営に携わってくれた実行委員会のメンバーに対して、この場をお借りして感謝の意を表したいと思います。

今回の医学祭では前回までにはなかった試みも多く、それによる運営上の反省点も多く残りました。しかし、受付の混雑改善や各企画の入場整理など、今回取り入れた工夫により前回の課題を改善できた点があることもまた事実です。このご時世だからこそ実現できた新しい形の医学祭として、今後の運営にも活かしてもらいたいと考えております。次回の医学祭である第26回医学祭では、今回運営に協力してくれた後輩達を中心となります。どのような形で開催されるかは未定ですが、今まで続けてきた取り組みと今回新たに始めた取り組み、両方を上手く組み合わせて、時世に合った形で開催してもらいたいと考えています。

今後とも私達学生の学業や活動、及び東北大学医学祭を温かく見守っていただければ幸甚に存じます。

今回の医学祭は新型コロナウイルス感染症の流行が始まって以来初の開催であり、感染対策のため新たに取り入れた試みも多々ありました。そのうちのひとつが入場制限です。いわゆる三密の状況を星陵キャンパスに作り出してしまわないように、苦渋の決断ではありましたが、実施することといたしました。

その結果、星陵にお迎えすることができた来場者数は前回よりも少なくなりました。しかし、内容としては前回に負けず劣らず、充実した企画をお届けできたのでは



## 「令和4年度東北大学・東北医科薬科大学合同慰霊祭・遺骨返還式」が開催されました

令和4年12月1日（木）に、東北大学・東北医科薬科大学合同慰霊祭・遺骨返還式が仙台国際センターで開催されました。遺骨返還式は昨年度・一昨年度のコロナ禍による中止を経て3年ぶりの開催となりました。

慰霊祭は午前10時から、ご遺族、白菊会役員のほか、来賓の県・市医師会・歯科医師会代表者にご出席をいただき、教職員および学生が参列して行われました。今年も新型コロナウイルス感染対策のため、学生は大ホールとサテライト会場の「桜」に分散しての参列となりました。慰霊祭ではこの1年間に系統解剖体及び病理解剖体に供された131体の招霊が行われ、参加者全員で黙祷を行い、東北大学医学部長から祭文、学生代表、教職員代表から

慰霊のことばがあり、参列者から献花が捧げられました。

遺骨返還式は午後2時から行われ、学生実行委員会を中心に、司会進行のほか参列されたご遺族の受付・会場内誘導などを解剖学実習を終えた2年次の学生が担って、式典が実施されました。式典にはご遺族、白菊会役員、両大学の教職員、学生が出席し、東北大学医学部・歯学部、東北医科薬科大学医学部のそれぞれの学生代表から、医学・医療の発展のためにお身体を捧げてくださった故人と、そのご遺志を尊重いただいたご遺族の方々へ、感謝と敬意を伝える言葉があり、各学部長からご遺族へ一人ずつご遺骨の返還と、文部科学大臣の感謝状の伝達が行われました。



## 学生用図書の整備および医学分館の利用状況について

東北大学附属図書館医学分館長 藤森 研司

附属図書館医学分館は、大学病院の敷地内にある医歯学・保健学系の専門図書館です。建物改修を終え、2021年5月にリニューアルオープンしました。

当館では、星陵キャンパスに所属する学生・教職員の学習・研究に必要な資料・サービスを日々提供しております。特に学生が必要とする図書の充実に向けておりますが、医学書は頻りに改版される上に高額です。そこで、今年度も医学部学生後援会から学生用図書整備の御支援を賜り、医学科系27冊、保健学科系29冊の図書を購入了しました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

なお、当館では冊子体の図書以外にも、ネットで閲覧可能な電子ブックを8,300冊以上取り揃えております。また、学術雑誌も外国雑誌を中心に電子ジャーナルが主流です。ど



ちらも館内だけでなく、研究室や自宅からも利用が可能です。多くの学生に活用されています。

さて、当館の開館時間は、平日9時から20時ですが、医学系研究科・医学部

の学生・大学院生は、平日・土日祝日ともに、7時から24時まで入館して利用することができます。通常、平日の入館者数は1日のべ400～500人程度ですが、医療系国家試験を控えた1、2月は、700～900人前後の入館があります。閲覧席のほとんどが埋まり、12月までの雰囲気とは全く異なる張り詰めた空気の中、試験対策に真剣に取り組む学生の姿が今年も見られました。

職員一同、今後とも資料の充実化および学習環境の整備、サービスの向上に努めて参りますので、引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。



## 令和4年度医学科3年次基礎医学修練発表会のご報告

医学科3年次基礎医学修練発表会 実行委員会委員長 大堤 聖香

令和4年度の基礎医学修練発表会は、新型コロナウイルス感染拡大防止を最大限配慮した上で、新型コロナウイルス感染拡大以前と同様の現地発表開催となりました。発表会は12月22日(木)、23日(金)の2日間にわたり無事に行われ、発表演題数は計102題、発表者は計106名と多くの学生が発表しました。今年度は海外留学が再開したため、初の試みとして発表会ではzoom



を使用し、留学中の学生も発表会に参加することができました。約4カ月という短い期間ではありますが、学生は担当教員の方々や指導教官の方々の熱心なご指導の下、研究室の一員として深く考え実際に手を動かし、医学の最先端に携わるという大変貴重な経験ができました。本発表会においても、その成果を互いに共有しあい己の知

識にしようと質疑応答を交わす積極性に満ちた場となり、大変嬉しく感じた次第です。

例年同様、発表会の運営は学生で組織された実行委員会を中心に、各メンバーに協力してもらいながら、無事2日間の運営を終えることができました。

優秀な発表をした学生と質問をした学生、また当日の発表会の運営に携わった有志のボランティアに、後援会からご支援をいただき副賞を贈呈いたしました。

今年度の基礎医学修練発表会を無事に運営できたのは、ひとえに学生後援会(PTA)の御寄付及び多くの方々のご支援を賜ったおかげでございます。

関係者一同、多大なるご支援を心より感謝申し上げます。



## 読売新聞教育ネットワーク主催の高校生向けオンラインセミナーに参加しました

2022年10月16日(土)、読売新聞教育ネットワーク主催の高校生向けオンラインセミナー「未来の医療を創る君へ」が開催され、東北大学医学部が参加しました。

本学は「感染症と共生する社会を築く」をテーマに医学系研究科微生物学分野の押谷仁教授、歯学研究科国際歯科保健学分野の小板健教授が講義を行いました。

講義後はオンライン上の懇親会を開催。講師・若手研究者、東北大学病院卒後研修センターの指導医・研修医、医学科の現役医学部生の3グループに分かれて、リラックスした雰囲気での質問や意見交換が行われました。

現役医学部生には試験対策や本学を選んだ理由・入学して良かったこと、高校時代の過ごし方のアドバイスなどの質問が寄せられました。

読売新聞教育ネットワーク  
<https://kyoiku.yomiuri.co.jp/iryou/>



## 学生受賞情報

### 2022年度 医学部学生奨学賞受賞者

最優秀賞 山口 玲 (5年)

Spatiotemporal dynamics of SETD5-containing NCoR-HDAC3 complex determines enhancer activation for adipogenesis

最優秀賞 坂田 菜摘 (5年)

ダブルプレニル Ykt6 はリソソーム水解酵素の輸送を制御する

優秀賞 天羽 瑛子 (4年)

オレイン酸がミクログリアのアミロイドβ取り込み機能に及ぼす影響

優秀賞 村山 安寿 (5年)

Evaluation of Conflicts of Interest among the Japanese Clinical Practice Guideline authors

奨学賞 鈴木 天真 (4年)

副腎皮質癌における脂質代謝表現型の病理組織学的検討  
～内分泌機能及び悪性度との関連性に関する検討～

奨学賞 頓宮 慶泰 (5年)

尿毒素フェニル硫酸は糖尿病性腎症におけるインスリン分泌促進とインスリン抵抗性に関与する

奨学賞 清水 弘明 (6年)

東北大学病院におけるコロナウイルス感染流行の放射線画像件数への影響

奨学賞 杉峯 諒 (6年)

腎不全患者の尿毒症物質生成に関する腸内細菌の解析

奨学賞 武田 研 (6年)

深層学習によるMRI画像からの咬筋測定プログラム開発及び疫学的意義に関する初期検討

奨学賞 山本 泰樹 (6年)

多発性内分泌腫瘍症のマルチモダリティイメージング：2020年の遺伝子検査保険適応から

奨学賞 河野 ちひろ (6年)

定型発達成人におけるアイデンティティの形成・確立と注意欠如多動傾向の関連

学友会体育部四賞 鈴木賞\*

第70回東日本選手権競漕大会 女子ダブルスカル優勝

第49回全日本大学選手権大会 女子ダブルスカル2位

保健学科 野村 明日香

モデルジャパン 2022 仙台大会ミスターモデル部門

フレッシュアークラス 5位 (入賞)

医学科 勝盛 直人

第5回東日本医療系学生対抗陸上競技大会

・女子砲丸投 優勝

・女子円盤投 優勝

・女子槍投 2位

第77回全日本医歯薬獣医大学対校陸上競技選手権大会

・女子砲丸投 優勝

・女子円盤投 3位

保健学科 島山 千果



※ 鈴木賞とは、元学友会応援団部長、鈴木雅洲先生のご発意に基づき昭和53年に創設された個人賞。これからの活躍が期待される成績優秀な2年生に授与される。

## 医学部保健学科検査技術科学専攻のウェアセレモニーを開催しました

2022年9月21日、医学部保健学科検査技術科学専攻のウェアセレモニーを開催しました。

八重樫伸生学部長、大森純子保健学科長、黒澤一医学部学生後援会会長から、実習に向かう学生に対しての激励の言葉がありました。

学生代表の長沼杜羽子さんに八重樫学部長から白衣が授与され、長沼さんが実習に向かうにあたっての決意表明を行いました。



## 医学部保健学科放射線技術科学専攻のウェアセレモニーを開催しました

2022年9月27日、医学部保健学科検査技術科学専攻のウェアセレモニーを開催しました。  
八重樫伸生学部長、大森純子保健学科長、黒澤一

医学部学生後援会会長、東北大学病院診療技術部 坂本博診療放射線技師長、放射線技術科学専攻 権田幸祐専攻主任から、実習に向かう学生に対しての激励の言葉がありました。

黒澤一医学部学生後援会会長、大森純子保健学科長から学生代表の宇賀神綾汰さんへ目録の授与のあと、学生一人ひとりに白衣が授与され、学生代表の高橋秀侑さんが実習に向かうにあたっての決意表明を行いました。



## 第13回医学部医学科白衣式報告書

医学部医学科長 石井 直人

令和5年1月30日（月）、第13回医学部医学科白衣式が医学部開設百周年記念ホール一星陵オーデトリウム講堂で開催されました。

今年度は3年振りに学生全員が対面参加となり、八重樫医学部長を初め、教授の先生方が列席のうえ、来賓に東北大学病院長、看護部長、診療技術部長をお招きし、学内の他の教員や保護者の方々にはオンラインにて参加いただきました。

白衣式では、医学部長より新5年次学生代表へ大学のロゴマーク入りの白衣が授与され、次いで Student Doctor 認定証および病院カードが授与されました。続いて各教授より新5年次学生全員に白衣が授与されました。

学生代表からは、これまで支えていただいた多くの方々への感謝や、医師を目指す者としての責任と心構え、特に COVID-19 の流行する中で最前線に立つて実習に臨むことへの決意が述べられました。

今年度も荘厳な雰囲気の中、臨床実習開始の節目としてふさわしい式典となりました。

最後に関係者を代表して、医学部学生後援会からのご援助に心より感謝申し上げます。



## 英語サイトをリニューアル・受験生向け特設ウェブサイト「voice」を開設しました

医学系研究科英語サイトをリニューアル  
<https://www.med.tohoku.ac.jp/english/>

受験生向け特設ウェブサイト「voice」を開設しました。  
<https://www.med.tohoku.ac.jp/voice/>

英語サイトは、情報を分かりやすくお伝えできるようデザインを変更しスマートフォンやタブレットでも見やすいホームページとなりました。

受験生向け特設ウェブサイト「voice」は、医学部の

在校生、卒業生の声や学生ライターインタビューなど掲載しております。

今後も最新の様々な情報を発信してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。



## 東北大学広報活動キャラクター「研一」

東北大学総務企画部広報室では、創立115周年・総合大学100周年記念事業の一環として、広報活動キャラクターデザイン原案を公募し、投票の結果、医学部医学科5年山崎真瞳子さん考案の「研一」が採用されました！

2022年11月18日（金）に表彰式が行われ、大隅副学長より表彰状と副賞が手渡されました。今後、広報チームの一員として活躍していきます！

また、研一のLINEスタンプも販売開始しました！日常生活で使えるとても愛らしいスタンプとなっております。ぜひご利用ください！

研一のプロフィールや活動については、WEBサイト「研一の部屋」に公開中です！

[https://www.bureau.tohoku.ac.jp/koho/pr\\_kenichi/index.html](https://www.bureau.tohoku.ac.jp/koho/pr_kenichi/index.html)



東北大学広報活動キャラクター・研一

## 編集後記

医学部学生後援会（PTA）は、会員の皆様方、学生及び教職員の方々に支えられ順調な活動ができましたことについて感謝を申し上げます。

今春も、夢と希望に満ち溢れた新入生の皆様方の入学を心からお慶び申し上げます。また、入学後の学生生活に係る支援の一端を担えさせていただければ幸いです。お待ちしております。

後援会といたしましては今後も助成及び学生の教育活動への支援などを継続して行い、医学部全体の充実をより一層図っていきたく思っております。

学生後援会事務局（PTA）

- 東北大学大学院医学系研究科・医学部ウェブサイト：  
<http://www.med.tohoku.ac.jp/>
- 東北大学医学部学生後援会ウェブサイト：  
<http://www.koen.med.tohoku.ac.jp/>
- Twitter : [https://twitter.com/tohoku\\_univ\\_med](https://twitter.com/tohoku_univ_med)
- Facebook : <https://www.facebook.com/Tohoku.University.School.of.Medicine>



### 東北大学医学部学生後援会（PTA）事務局

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1  
 TEL : 022-717-7870 E-mail : med-koen@med.tohoku.ac.jp  
<http://www.koen.med.tohoku.ac.jp/>